

# 第6学年3組 国語科学習指導案

令和元年11月13日(水) 第5校時

6年3組教室(在籍児童数38名)

指導者 教諭 森谷 慎平

## 1 単元名・教材名

「お気に入りの絵を、キャプションで紹介しよう」

『鳥獣戯画』を読む」「この絵、私はこう見る」(光村図書 6年)

## 2 児童の実態と本単元の意図

### (1) 児童について

児童は、図や表などの資料と本文を結び付けて読む活動を前学年までに経験をしているが、絵と文章を結び付け、「絵を読む」という経験は本単元が初めての学習になる。これまでには、「時計の時間と心の時間」の学習で、筆者の意図を捉え、筆者の主張と自分の経験と結び付けて考え、表現する活動や、「森へ」の教材文を使って表現の美しさや資料と本文の関係性に気付き、そこで読み取ったことを書く活動である推薦文に活用するという活動を行ってきた。また、「未来がよりよくあるために」の単元では、教材文の文章構成の工夫や説得力のある文章の書き方を学び、活用する経験を積んでいる。

しかし、十分な支援がないと、伝えたい事柄を整理したり、どの事柄について述べたいのかの情報の軽重がつけられなかったりする児童もいる。また、自分の考えをもってはいるものの、読み手を意識して表現の工夫を取り入れたり、考えをまとめたりすることに苦手意識をもつ児童も多い。本単元では、筆者の絵を見る視点と評価語彙、読み手を意識した表現の工夫を学び、得た知識・技能を活用して、自分のもの見方を適切な表現で表すことに喜びや楽しさを感じることが出来る児童の育成を目指したい。

### (2) 教材について

本教材①『鳥獣戯画』を読むは、「日本漫画の祖」と呼ばれる国宝の絵巻物「鳥獣人物戯画」の一場面を取り上げ、その絵の解説をした説明的文章である。筆者である高畑勲氏は、アニメーション監督の視点から、読み手を意識し、書き出しや文末表現を工夫したり、絵を切り離して解説したりするなど、絵の着眼点と評価する言葉がより伝わりやすいように工夫をしている。筆者がどこに注目し、生み出された感動をどのような言葉で表現しているのか、全体を見ているのか、それとも部分を見ているのかを読み取ることによって、自分で選んだ絵画のキャプション(解説文)を書いて紹介するという活動に身に付けた力を生かすことができる教材である。さらに考えに意味を付け加えたり、新たな価値付けを行ったりする書き方に触れることで、ただ単に着眼点と評価語彙を並べるだけでなく、主旨を生かした文章の書き方も学ぶことができる。また、読み取って身に付けた力を、自分の考えを表現する活動に効果的に活用するために、『鳥獣戯画』を読むと「この絵、私はこう見る」の二単元を複合単元として取り扱う。

本教材②「この絵、私はこう見る」の単元では、1枚の絵から自分が見て読み取った絵の素晴らしさを自分なりの理由や意味付けをして説得力をもたせ、解説的に表現することが求められている。また、児童の自由な発想を重視することで、対話的な学習活動が多様な考えに触れながら言語感覚を養うことにつながる教材とも言える。二つの単元を通した言語活動を設定することで、読む必要性と書く意味が単元を通して意識でき、学びに向かう主体性を引き出しながら学習に取り組ませることが期待できる教材である。

### (3) 指導について

本単元は、小学校学習指導要領国語編「B書くこと」の(1)指導事項ウ

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

を受けて設定されている。その言語活動例、

事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。

を具現化するために、本単元の教材の特性を踏まえ、児童が自ら選んだ絵画作品の素晴らしさを友達に伝えるためのキャプション（解説文）作りを言語活動として位置付けた。

第1次では、教科書に載っている「鳥獣人物戯画」を提示し、自由に感想を交流させる。「絵を読む」経験のない児童の、現段階でのものの見方を言語化することで、教科書教材を読んだ際に筆者のものの見方と自分のものの見方を比較し、より深く読もうとする効果が期待できる。その後、教師作成のキャプションを提示し、この単元で身に付けたい力と単元計画を確認する。この際、児童の「書きたい」「どうしてこんな表現になるのだろう」という課題意識と学習意欲を高める声かけを重視し、指導を行う。

第2次では、『鳥獣戯画』を読む』を読んで、筆者の絵の捉え方と自分の感想を比較し、課題意識を更に高めさせるとともに、豊かな語彙で表現することのよさを十分に感じることができるようにする。また単元を通し、出会った語彙や表現を書き留める「言葉の宝箱」を活用し、児童のキャプション作りに生かせるようにさせる。その後、キャプション作りの練習として、1枚の絵を見て自由に感想を交流し、自分のものの見方を効果的に表現する活動を取り入れる。様々な表現に出会い、思いをより効果的に伝えさせるために、話し合いには「ワールド・カフェ」の手法を取り入れる。1枚の模造紙をテーブルクロスに見立て、自由な雰囲気言葉を巡らせることで、お互いの考えを尊重し合いながら書くための情報を整理・精選できるようにさせる。

第3次の交流に向けて、事前に選んだ絵のキャプション作りに取り組んでいく。「言葉の宝箱」を活用して、表現へのこだわりや思いを大切に書くように指導していく。話し合いや推敲の場面では、友達のよい表現や、再構築した自分の考えへの気付きを大切にさせ、自分のキャプション作りに生かすように指導を行う。単元を通して、言語活動の目的と児童の課題意識を意識して指導し、児童の言語感覚を豊かにするとともに、自分の言葉にこだわりをもって表現できた達成感を感じられるように支援していく。

### 3 単元の目標

- (1) 筆者のものの見方と自分のものの見方を比べながら、絵画から読み取ったことを進んで伝えようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(書くこと)
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(読むこと)
- (4) 語彙を豊かにし、語句と語句の関係を考えながら、文章の中で使うことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

#### 4 単元の評価規準と学習活動における具体的評価規準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
単 元 の 評 価 規 準	・筆者のものの見方と自分のものの見方を比べながら、絵画から読み取ったことを進んで伝えようとしている。	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	・語彙を豊かにし、語句と語句の関係を考えながら、文章の中で使っている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 的 評 価 規 準	①絵画に興味をもち、絵から読み取ったことを伝えようとしている。 ②筆者のものの見方と、自分のものの見方を比べながら読んでいる。 ③意欲的にキャプションを書いたり、読んだりしようとしている。	①事実と意見、感想を区別して、絵画から読み取ったことを書いている。 ②事実と意見、感想を区別して、自分の考え方が伝わるように付箋に読み取ったことを書いている。 ③読み取った表現方法の工夫を使ってキャプションを書いている。	①筆者の意図を受け、自分の考えと比較しながら考えをまとめている。 ②考えの根拠となる事実や意見、感想を押さえて読んでいる。 ③筆者の意図と表現の工夫とを関連付けて読んでいる。	①文の書き出しや文末表現の役割や使い方を理解している。 ②国語辞典で、自分が表現したい思いに合った語句を探して、文章中で使っている。

#### 5 指導と評価の計画（全10時間 本時・・・第6時）

時	主な学習活動	学習内容	評価規準 評価方法
第 一 次	1 ○「鳥獣人物戯画」を見て、自由に鑑賞する。 ○モデルとなるキャプションを読み、学習の見通しと身に付けたい力を考える。	○鑑賞の仕方 ○単元のゴール ○学習の見通し ○キャプションの構成 ○並行読書の進め方	アの① ・話合いの様子 ・発表の内容 ・態度の観察
	大課題 お気に入りの絵を、『キャプション』で紹介しよう。		
	学習課題 絵を『読み』『キャプションを書く』ために必要な『力』を考え、単元の学習計画を立てよう。		

第 二 次	2	<p><b>学習課題</b> 筆者のものの見方と自分のものの見方を比べて読もう。</p> <p>○自分の捉え方と、筆者のものの見方の共通点や差異を考え、発表する。</p>	<p>○事実と意見、感想の区別</p> <p>○筆者のものの見方</p>	<p>アの②・エの①</p> <p>・ワークシートの考察</p> <p>・態度の観察</p>
	3・4	<p><b>学習課題</b> 筆者は『鳥獣戯画』のどこに注目し、どんな言葉で評価しているのか発見しよう。</p> <p>○『鳥獣戯画』を読む」を読み、筆者のものの見方を捉える。</p>	<p>○着眼点と評価語彙</p> <p>○事実の捉え方</p> <p>○評価語彙の捉え方</p> <p>○付箋の書き方</p> <p>○メモの仕方</p>	<p>アの②・エの②</p> <p>・ワークシートの考察</p> <p>・発表の内容</p> <p>・態度の観察</p>
	5	<p><b>学習課題</b> 筆者の「文章表現の技」と「効果」を説明しよう。</p> <p>○『鳥獣戯画』を読む」を読み、筆者の表現や構成の工夫を読み取る。</p>	<p>○表現の工夫の仕方</p> <p>・書き出しの工夫</p> <p>・文末表現の工夫</p> <p>・問いかけの言葉</p> <p>・比喩表現</p> <p>・構成の工夫</p>	<p>エの③・オの①</p> <p>・ワークシートの考察</p> <p>・発表の内容</p>
6 本 時	6	<p><b>学習課題</b> 自分の「ものの見方」を広げ、絵の魅力を説明しよう。</p> <p>○「風神雷神図屏風」から着眼点と評価語彙を考え、交流する。</p>	<p>○ワールド・カフェの仕方</p> <p>○交流の仕方</p> <p>○着眼点と評価語彙</p> <p>○キャプションの書き方</p>	<p>アの①・ウの①</p> <p>・模造紙、ワークシートの考察</p> <p>・発表の内容</p>
	7	<p><b>学習課題</b> 『言葉の宝箱』を活用し、キャプション作りに必要な「着眼点」と「評価語彙」を集めよう。</p> <p>○自分が選んだ絵画作品を鑑賞し、着眼点と評価語彙をまとめる。</p>	<p>○事実と意見、感想の区別</p> <p>○事実の書き方</p> <p>○意見や感想の書き方</p>	<p>ウの②・オの②</p> <p>・ワークシートの考察</p> <p>・発表の内容</p>
	8	<p><b>学習課題</b> 表現や言葉にこだわって、キャプションを書こう。</p> <p>○表現や構成を工夫して、キャプションを書く。</p>	<p>○キャプションの書き方</p> <p>○構成の仕方</p>	<p>アの③・ウの③</p> <p>・記述の考察</p> <p>・態度の観察</p>

	9	<b>学習課題</b> グループで協力して、よりよいキャプションになるように、考えを伝え合おう。 ○キャプションを推敲し、清書をすすめる。	○推敲の仕方 ○清書の仕方	アの③・オの② ・記述の考察 ・態度の観察
第三次	10	<b>学習課題</b> お気に入りの絵をキャプションで紹介し合い、ものの方を広げよう。 ○キャプションを読み合い、交流する。	○交流の仕方 ○評価の仕方	アの③ ・態度の観察 ・ワークシートの考察

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

自分のものの見方を伝えるために、事実と感想、意見を区別して書くことができる。(書くこと)

### (2) 評価規準

<b>関心・意欲・態度</b> ・絵画に興味をもち、絵から読み取ったことを伝えようとしている。	<b>書くこと</b> ・事実と意見、感想を区別して、絵画から読み取ったことを書いている。
--	--

### (3) 展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の学習課題をつかみ、見通しをもつ。		・前単元の学習を振り返り、身に付いた力と、キャプション作成の目的を確認する。 ・本時の学習では、絵を読む視点を踏まえ、自分の考えを表現することを確認する。	2
<b>学習課題</b> 自分の「ものの見方」を広げ、絵の魅力を説明しよう。			
2 絵を読む視点を確認する。	○着眼点と評価語彙 ○記述の仕方	・絵を読む視点を確認し、既習を生かして活動することができるように指導する。	3
3 「風神雷神図屏風」を見て、読み取れることと、評価する言葉を書き出す。	○ワールド・カフェの方法 ○交流の仕方		15
<b>【ワールド・カフェのルール】</b> ・意見を否定しない。      ・自由に考えを出す。 ・マッピングなどをして、整理しながら考える。			

<p>【ワールド・カフェの行い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3人～4人で行う。</li> <li>・模造紙に自由に記述してよく、比較できる考えは、適宜マッピングやグループ分けを行う。</li> <li>・一定時間が過ぎたら、1人はグループに残り、他のメンバーは、移動。残った1人が新しいメンバーに話合いの経緯を説明し、新たな話合いを始める。</li> </ul>			
	<p>評価場面</p> <p>〈学習活動に即した評価規準〉</p> <p>アの① ウの①</p> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙の記述による分析 ・態度の観察</li> </ul> <p>〈手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と意見、感想が区別できない児童には、既習のワークシートを参考に記述するように助言する。</li> <li>・事実と意見、感想を区別して書いている児童には、他の児童の記述から考えを更に広げるように促す。</li> </ul>		
<p>4 全体で考えを共有する。</p>	<p>○発表の仕方</p> <p>○全体交流の仕方</p> <p>○メモの仕方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ絵を見て、同じ着眼点でも感じ方や捉え方が異なることを踏まえ、全体で交流させる。</li> </ul>	<p>8</p>
<p>5 短いキャプションを書く。</p>	<p>○キャプションの書き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに出会った言葉は「言葉の宝箱」にメモをさせる。</li> <li>・必要に応じて、国語辞典を活用するように助言する。</li> <li>・友達のよい表現を取り入れながら、自分の思いを再構築させる。</li> </ul>	<p>10</p>
<p>6 発表する。</p>	<p>○発表の仕方</p>		<p>3</p>
<p>7 まとめと振り返りをする。</p>	<p>○振り返りの視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の感想を生かし、次時の目標をもてるようにさせる。</li> <li>・自己評価をさせ、考えたことや、どう学んだかを記述させる。</li> </ul>	<p>4</p>
<p>自分のものの見方を広げ、キャプションを書くためには</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な視点で、いろいろな捉え方があることを踏まえて書く。</li> <li>○最も注目したところを、詳しく書く。</li> <li>○表現を工夫して、文にする。</li> </ul>			

(4) 板書計画

十一月十二日

『鳥獣戯画』を読む」・「この絵、私はこう見る」

大課題 お気に入りの絵を、キャプションで紹介しよう

学習課題 自分のものの見方を広げ、絵の魅力を説明しよう

◎ワールド・カフェの進め方・ルール

◎「風神雷神図屏風」  
の拡大図

着眼点

評価語彙

事実・・・黄色

意見や感想

・・・オレンジ

◎まとめ

◎振り返りの視点